※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	創作実習（演劇）（選択）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習を通して、前期は卒業発表会の舞台、後期は選択授業発表会の舞台を作り上げます。個々のスキルアップももちろん大切ですが、総合芸術である演劇はチームワークも重要です。そのためにはお互いを尊重し、しっかりとコミュニケーションをとってより良い舞台づくりを目指しましょう。常に最高のパフォーマンスができるように体調管理にも留意してください。

２　学習の到達目標

（１）　講師の指導のもと、演劇に必要な発声の仕方・身体の使い方など基礎的な技能を身につけることをめざす。

（２）　豊かな表現力を持った演技の習得をめざすとともに、効果的な音響・照明のプランや大道具・小道具の製作などを検討してより良い舞台づくりをめざす。

（３）　総合芸術である演劇の実践を通して個々に与えられた役割を十分理解し、講師の助言を得て議論や相互評価など協力して自分たちの手による舞台を作り上げることをめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・発声の技能について理解し、実践ができる。（方向・距離・幅） ・演技をする上での身体の使い方が実践できる。 ・演劇・舞台に関する用語などの知識を身につけている。	・演技の三要素について理解し、実践ができる。（内面・表出・表現） ・舞台上での空間把握を行い適切な位置取りをすることができる。 ・より良い舞台づくりをめざして、効果的な音響・照明のプランや大道具・小道具の製作などの検討ができる。	・個々に与えられた役割を十分理解し、議論や相互評価など協力してより良い舞台づくりをめざそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	卒業発表会に向けて	演劇（演技・舞台）に関しての基礎的な知識・技能について ７月の卒業発表会に向けて上記についての実践 卒業発表会の振り返り・選択授業発表会に向けて課題の確認	a: 演劇・舞台に関する用語などの基本的な知識を身につけている。 基本的な声や身体の使い方など理解している。 b: 授業で学んだ知識・技能を表現することができる。 より良い舞台づくりをめざして、議論や検討をすることができる。 c: 舞台づくりを進めていく中で、主体的に議論に参加するとともに、責任をもって個々に与えられた役割を果たすことができる。	授業中のテスト 授業観察	授業観察	授業観察
後期	選択授業発表会に向けて	演劇（演技・舞台）に関しての発展的な知識・技能について １月の選択授業発表会に向けて上記についての実践	a: 演劇・舞台に関する用語などの発展的な知識を身につけている。 発展的な声や身体の使い方など理解している。 b: 授業で学んだ知識・技能を表現することができる。 より良い舞台づくりをめざして、議論や検討をすることができる。 c: 舞台づくりを進めていく中で、主体的に議論に参加するとともに、責任をもって個々に与えられた役割に果たすことができる。	授業中のテスト 授業観察	授業観察	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度